

会 議 録

(1 / 7)

会 議 の 名 称	令和4年度 第4回坂戸市地域交流センター化協議会
開 催 日 時	令和4年11月17日(木) 午後1時30分 開会 ・ 午後3時20分 閉会
開 催 場 所	坂戸市役所303・304会議室
議長(委員長・ 会長)の氏名	横田恒雄会長
出席者(委員)の 氏名・出席者数	山下 勝司委員、伊藤 敏 委員、佐藤 和恵委員、 渡邊 健也委員、稲垣 弘美委員、田中 明雄委員、 武谷 年彦委員、油井 京子委員、田中 一哉委員、 倉島 洋二委員、貝瀬 孝和委員 計11名
欠席者(委員)の 氏名・欠席者数	花田 勝夫委員、富田 哲 委員、計2名
事務局職員の 職・氏名	市民部 細田部長、市民生活課 庄司課長、 岡崎課長補佐、石田課長補佐、関口係長、戸口主任
会 議 次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 協議事項 (1) 公民館利用者アンケート調査集計結果について (2) 市民アンケート調査集計結果について (3) 公民館実施事業について (4) 入西地域交流センター実施事業について 4 そ の 他 5 閉 会
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1 公民館利用者アンケート調査報告書 ・ 資料2 市民アンケート調査報告書 ・ 資料3-1 令和3年度公民館・地域交流センター事業報告書 ・ 資料3-2 令和4年度公民館・地域交流センター事業計画書

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会
会長	2 挨拶 会長挨拶
事務局	3 協議事項 <u>(1) 公民館利用者アンケート調査集計結果について</u> 資料1 説明
委員	報告書のP5、「市内」の内訳で入西地区が少ないが何故か。
事務局	「入西地域交流センター利用者アンケート調査」を別途実施したので、今回は(入西を除く)公民館8館を対象としたため。
委員	このアンケート調査報告書は、参考になった。市民の要望は取り上げていくべき。施設の改修の必要性を感じた。 現在は教育財産と思うが、今後は変更があるのか。
事務局	教育財産から市の庁舎と同様に行政財産に変更することとなる。
委員	エアコンの要望が多い。体育館(講堂)を利用する方からの声だと思うが、どこまで必要だろうか。風通しなど良くする対応も必要ではないか。料金の件、市外の方の意見が多い。市民は税金を払っている。施設維持費は市民の税金が支出されている。申込期間についても、考えるべき。利用機会の均等の観点からも受け入れられない。地域交流センター化する場合、従来の公民館機能を維持することをうたうと分かりやすい。
委員	定期利用団体だけを優先させてほしくない。急な会議が入れられない。予備の部屋を用意するなど、公平に貸し出しをしてほしい。 料金の件、「高齢者を無料に」という意見もあったが、100円、200円の単位の利用料、しかも団体の利用だと、一人当たりの料金は10円にも満たないこともあり、極めて少額である。高齢者がという意見があるが、障がい者が気軽に利用できる設計にしてもらいたい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>中央公民館（を話題にしては恐縮だが）、身体が不自由な方は使用できないため、何とかできないかと考えた。1階の図書スペースをバリアフリー化したうえで、フリースペースにして、どなたでも利用できるようにしたらどうか。スロープは付けてあるが、部屋が狭くなっている。図書を除き、スペースを広くしてほしい。お金をあまりかけずにできるのではないか。今回、（アンケート調査を実施したので、）生の声を聞いたのはプラス。各施設が、障がい者や若い親子でも利用し易いように考えてほしい。</p>
委員	エレベーターの設置状況は？設置は難しいのか。
事務局	勝呂、大家公民館は設置してあるが、他については、設置されていない。また、設置となると予算も関係してくる。
委員	<p>地域交流センター化の中に、取り込んだ方がよいものを見ると、高齢者や子どもは出てくるが、障がい者の事は取り上げられていない。健常者と障がい者のふれあいの場が少ない。ノーマライゼーションの考えで健常者の中に溶け込ませていくと、将来目指すものが見えてくるのではないだろうか。</p>
委員	<p>地域交流センター化すると、施設の使い勝手がよくなると思う。入西地域交流センターで企業がPR活動をしていた。ビジネスチャンスにもなるため、地域交流センター化のメリットをお知らせすることが必要。今後、広報などでPRすべき。 エレベーターの件は、確かに必要だがお金がかかる。</p>
事務局	<p>（2）市民アンケート調査集計結果について 資料2説明</p>
委員	<p>P4問3の「ほとんど利用していない」という結果に驚いた。自分は、公民館を身近に利用しているので、市民のほとんどが利用していると思っていた。ニーズが合っていないのか。高齢化で移動手段について、希望する時間のバスがないため、事業に参加したくてもバスがないと参加できない。 若い方の利用が少ない。知り合いに入西地域交流センターの「つどいの広場」へ行きたいという方がいるが、バスが少ないため、ベビーカーを押して30分かけて、月1回通っている。皆の足である市民バスが増便になれば、利用も増えると思う。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>公民館利用者アンケート調査は、60～70代の方が多かったが、市民アンケート調査は20～50代の方の回答が多かった。若い世代は、コミュニティを求めている意見も多いため、目的を明確化する必要がある。</p>
委員	<p>アンケートの結果は、参考になった。施設面や予算を無視したものもあるので鵜呑みにすることはできないが、市民のニーズがリアルにわかる。今後、人口が減少し税収が減る。限られた中で何ができるか。地域交流センターの本質は、コミュニティである。例えば、調理室を新たに作るとしたら、民間の調理器具メーカーの器具を無償で入れる代わりに、宣伝に利用してもらおうなど、市と民間がもっと連携すべきである。</p>
委員	<p>P4の問3「ほとんど利用しない」が87.9%、そして、P5の問6の回答にあるとおり、何故「利用する必要がなかった」のか。公民館で実施している事業は、公民館主導の形が多い。地域交流センターの中には、無駄があっても良いのではないか。活動しない人は引き込まってしまっているのだから、雑談でも良いので集まれる日を作ったらどうか。物理的ではなく理念を大きく取り上げていくのが良い。</p>
委員	<p>資料の取りまとめは、たいへんだったと思う。中身も濃く、反対意見の中にも妥当と思えるものも多い。エレベーターはお金がないので現実的には無理である。そろそろソフトのことを考えていかねばならない。先ほどの調理室のお話は、良い意見と思う。</p> <p>地域を作り上げていくのに何年もかかるが、コロナの影響で皆で何かやろうという機運が下がっている。何もせず3年経ち、地域も疲弊している。地域でも働く人が多く、リーダーをやれる人が限られている。考えを練るのは大変だが、楽しいことがあればついてくる人もいる。アイデアを出して、皆で考えていくのが大切。自由意見：分類6「地域づくりについて」は、妥当な意見ばかりだ。</p>
委員	<p>住民説明会を行うとのことであるが、内容の説明の場があることが大切と思う。説明会は、いつ頃を想定しているのか。</p>
事務局	<p>今年度は、地域交流センター化に関する基本計画（素案）の策定を行い、住民説明会は、来年度の5月～6月頃になると考えている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	住民説明会は、どのような段階で行うのか。
事務局	令和6年4月から移行するにあたり、8公民館を揃って交流センター化するため、今年度作成する基本計画の素案を説明したいと考えている。
会長	市民に、地域交流センター化についての情報提供をしていくことが大切。
委員	地域交流センター化について一般市民に伝わっていないので、出来上がったものを説明する会ではない。
委員	地域交流センターができてからでは遅いため、同時進行でソフト面を検討していった方がよいのでは。
委員	ソフトをうまく活用すればよい。P6の問7の回答で、興味あれば参加すると言っている。成功事例、具体例を参考にしながら、市で事例の方向付けをある程度しないと難しいと思う。
委員	自分たちは説明を聞いているので理解できるが、一般の方は形でしかわからない。実際のビジョンをうたって進めていかないと、市民は「何だかわからないね。」で終わってしまう。これはできる、これはできないと箇条書きで示すと、漠然としたものがまとまっていく。トラック市のためだけでは疑問を持つ。夢をいっぱい書いて市民の皆さんにアピールする。
委員	基本計画（素案）の中に協議会で出された意見を盛り込み、住民説明会でそれを基に説明し、市民の意見を取り込むことが大切と思う。
委員	具体的事例を示すことも大切。
委員	利用しない方は若い方で、ニーズが合っていないから利用しない。入西地域交流センターのフリースペースは、子どもたちが宿題をやって、上手に場を利用している。20～40代の利用が少ないので、興味を引く事業や講座を開くためにどんなことをしたらいいか聞いた方がよい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>あなただったらどういふことをやりたいかを聞いて、ボトムアップでやりたいことを採用できれば、皆さんのためにこんな事業もできると汲み取って話もできる。</p>
会長	<p>事業の話が出ているので、次に進めたい。</p>
事務局	<p><u>(3) 公民館実施事業について及び(4) 入西地域交流センター事業について</u></p> <p>資料 3-1 事業報告書 (P1～P17) 公民館 " " (P18～P19) 入西地域交流センター 資料 3-2 事業計画書 (P1～P25) 公民館 " " (P26～P28) 入西地域交流センター</p>
委員	<p>入西地区の人口は？→事業計画書 P 2 6 に記載のとおり地域交流センターになってよかった。</p>
委員	<p>それぞれ地域の推進員と取り組んでいるのはわかるが、やり方が同じなので、来てほしい世代に問いかける手段をとるのはどうだろうか。広報、公民館だよりしかないのか。子育て中の親子を支援する「ひよこ」は入西地域交流センターだけである。地域の支え合いの施設であるため、今後は工夫をして地域に呼びかけて、若い世代に入ってもらふ必要がある。地域の中に救いを求めている人や送迎をしてくれる事を知らない人はいるはずで、PRが大切。</p>
委員	<p>皆さん、いろいろなことをやっていて、横の展開が大切と感じた。</p>
委員	<p>何代か前のわんぱく相撲の会長をやっていたが、参加者が減ってきた。コミュニティは数だと思う。たくさん参加することが大切。川越まつりに参加することができたが、ウエルカムで、温かい雰囲気だった。「コミュニティが活発にできるのは、お祭りがあるから・・・」とのことだった。</p> <p>きっかけづくりが大切で、事業計画もしっかりしているが、川越市は、商工会議所が企画して「川越まちゼミ」としてノウハウを市民に安く提供しており、小学校にチラシも配布している。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>コミュニティは、いかに参加してもらえるか、魅力ある講座を企画する「企画力」と「知ってもらふこと」の2つが上手くリンクすることが課題となる。企画の後押しを行政が行い、行政と民間が協力して盛り上げていく。そうすれば、地域の方にとっては、メリットしかない、魅力的なことになる。</p> <p>防災面も大切なことである。</p>
会長	<p>避難所とのつながりも関係してくるので、防災は重要と考える。</p>
委員	<p>お金がないからでは済まされないことがあるので、力を入れてもらいたい。</p>
委員	<p>顔が見えることが大切。顔が見える状態であれば、障がい者も孤立しなくなる。コミュニティができていれば、お互い助け合うこともできると考えている。</p>
委員	<p>地域交流センター、地域の力は重要。そば打ちを信州まで行って習ってきた方がいるが、坂戸でも市内の事業者が協力してくれば、地域の活性化につながることもできると思う。</p> <p>先日、企業主催の健康講座があったが、参加された方は健康についての話も聞け、喜んでいた。企業と連携した講座も若い年代にも呼び掛けることができると考えている。</p>
会長	<p>本日の会議は、以上をもって終了したい。(→一同、了解)</p>
事務局	<p>4. その他 次回開催は、1月18日(水)午後1時30分より開催。後日、通知を送付させていただきます。</p> <p>5. 閉会 午後3時20分</p>